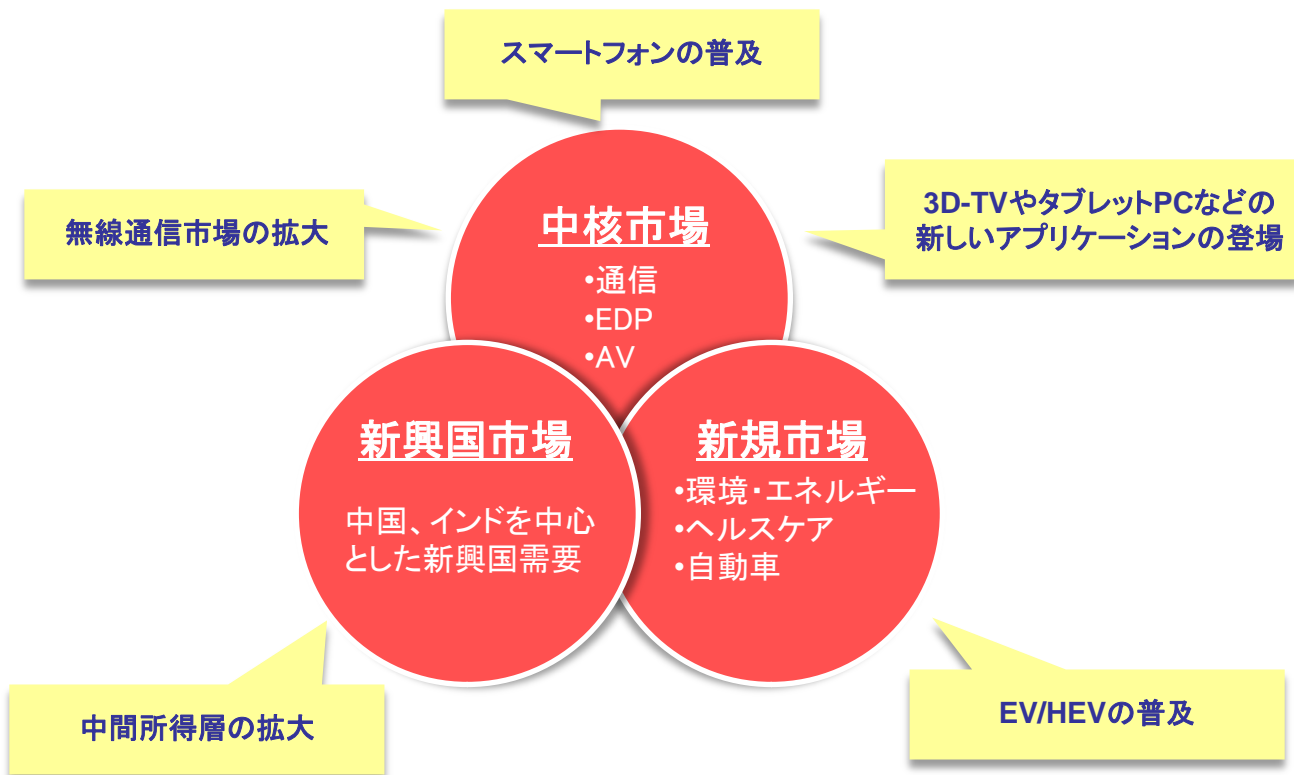


Information Meeting 2010

2010年12月3日
株式会社村田製作所





- ◆無線通信市場の拡大
- ◆電子機器の高機能化
- ◆新興国市場での需要拡大
- ◆新商品・新規市場

無線通信市場の拡大①

■スマートフォンの普及

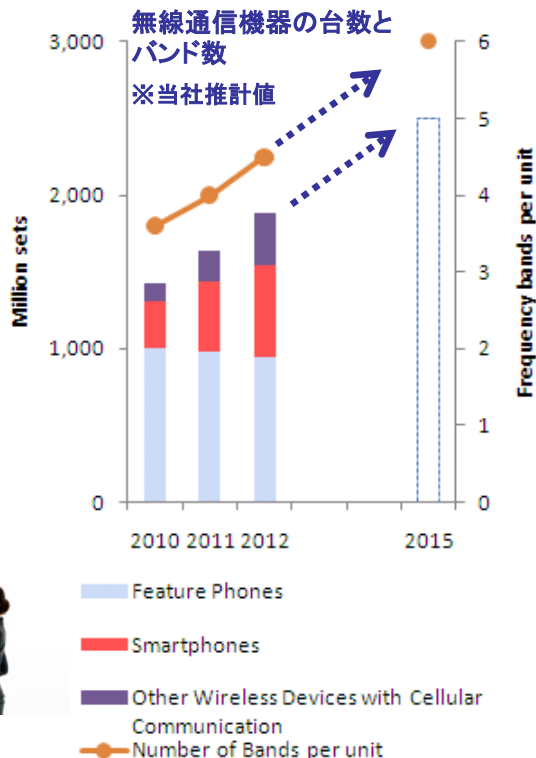
2012年には、スマートフォン比率が40%に拡大

■3G/LTEの伸展

- マルチバンド/マルチモード化により、1台当たりのバンド数が増加
- 基地局需要も拡大

■携帯電話以外の無線通信機器の成長

データカード、タブレットPC、モバイルWi-Fiルーター、電子書籍、M2M市場など携帯電話以外にも無線通信機器が拡大



無線通信市場の拡大②

機器の高機能化

- ✓部品員数の増大
- ✓大容量品への需要拡大
- ✓ノイズ対策部品の需要拡大

スマートフォンでは、MLCC
員数が2Gに比べ格段に多
い(次項参照)

機器の小型化

- ✓小型部品への需要拡大
- ✓モジュールの省スペース設計



マルチバンド/マルチモード化

- ✓SAWフィルタ/デュプレクサの需要
拡大

スマートフォンでは、SAW
デバイス員数が2G携帯比
で3倍以上

RF回路の複雑化

- ✓得意先の設計工数と設計期間
削減ニーズ
- ✓SAWデバイスとの複合モジュール
でのトータルソリューションの提案

**無線通信市場は大きく拡大している。
トータルソリューションを提供できるムラタにとって大きな機会。**

電子機器の高機能化①

電子機器の高機能化により、積層セラミックコンデンサの搭載員数が増加している。

携帯電話

2G携帯

100－200個

スマートフォン

400－500個

PC

ネットブック

300－400個

タブレットPC

500－600個

ノートPC
(現行プラットフォーム)

600－700個

ノートPC
(次世代プラットフォーム)

700－800個

薄型TV

液晶TV

700－800個

3D - TV*

1,000－1,100個

*LEDバックライト、4倍速駆動モデル

電子機器の高機能化②

電子機器の高機能化により、積層セラミックコンデンサの需要が高付加価値品へシフトしている。

■大容量化

- 容量が1 μ F以上のアイテムに需要がシフト
- タンタルやアルミ電解など異種コンデンサからの置き換え需要は約500億円/年程度(推計)

■小型化

スマートフォンを中心に0402/0603サイズといった小型品の採用が増加

新興国市場での需要拡大

Emerging markets

■アジア新興国の経済成長

- 中国、インドを中心としたアジア新興国における中間所得者層*の人口が、現在の9.4億人から2020年には20億人にほぼ倍増(推計値)

*世帯可処分所得US\$5,000-35,000

■電子部品需要の拡大

- セットメーカーのアジア(EMS含む)への生産/設計/購買シフト加速
- ロウ/ミドルエンドからハイエンド品への需要シフト

海外での拠点展開

■海外生産の拡大

- ✓海外生産比率を現状15%⇒30%に拡大(2013年3月までに)
- ✓中国、タイ、マレーシアでの生産拡大

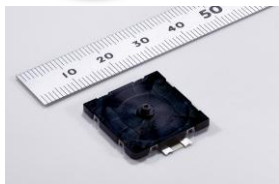
■海外販売/サポート拠点の拡大

- 2010年7月
上海に電波暗室棟設立
(ムラタEMCセンター)
- 2010年10月
インド、ベトナム販売拠点設立

さらに中国内陸部での拠点展開を検討中

拡大する新興国市場のニーズを的確にとらえ、成長につなげていく。

New
Products



マイクロプロア



マイクロDC-DCコンバータ

マイクロプロア

- セラミックスの超音波振動を応用して「空気ポンプ」として動作させ、高い空気吐出圧を実現。
- 非常に小型かつ薄型であるため、スマートフォンなどの小型製品の熱対策用に搭載が可能。

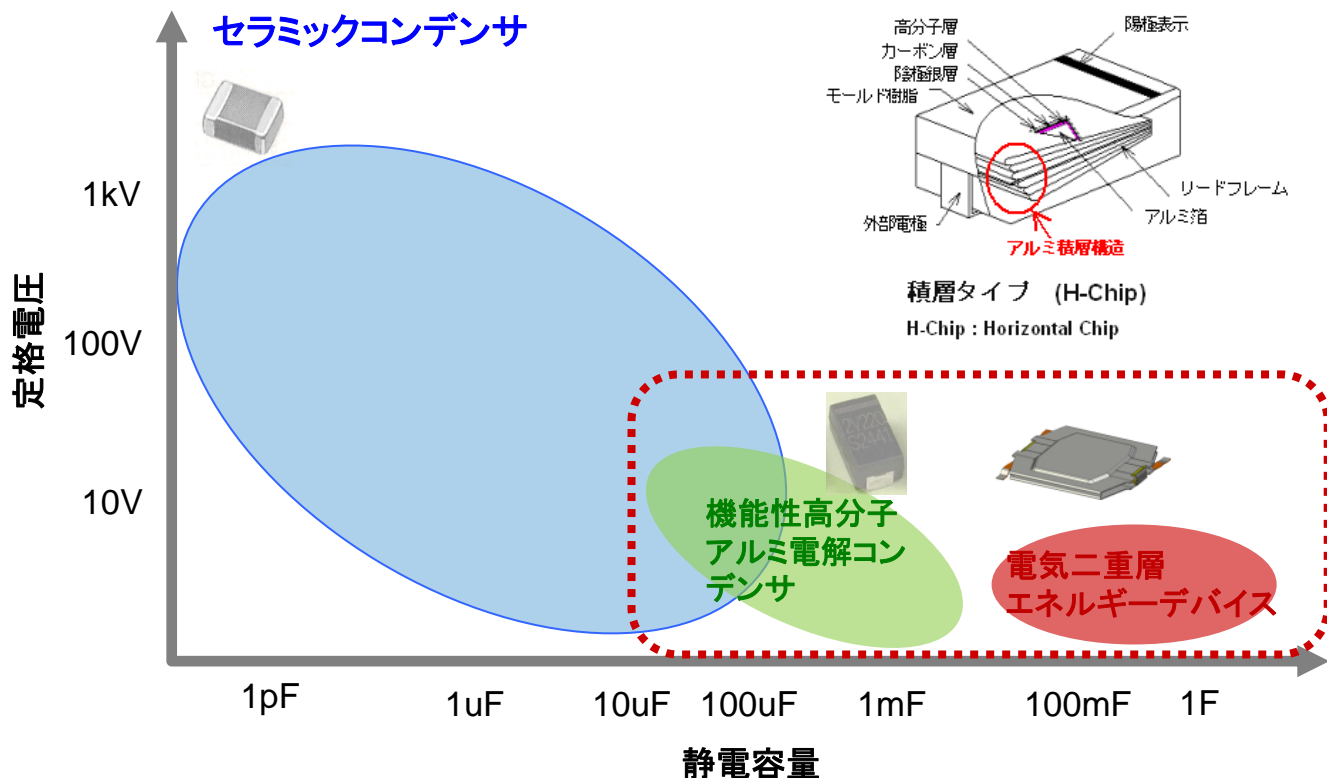
マイクロDC-DCコンバータ

- 携帯電話をはじめとした小型モバイル機器向けの、超小型・低EMIのDC-DCコンバータ。
- ディスクリット実装品との比較で、ボード上面積を60%削減。

キャパシタハウス

- 導電性高分子アルミ電解コンデンサ
- 電気2重層キャパシタ

キャパシタハウス構想



New Markets

環境・エネルギー

- 産業機器向けリチウムイオン2次電池
- 太陽電池向け銀ペースト

ヘルスケア

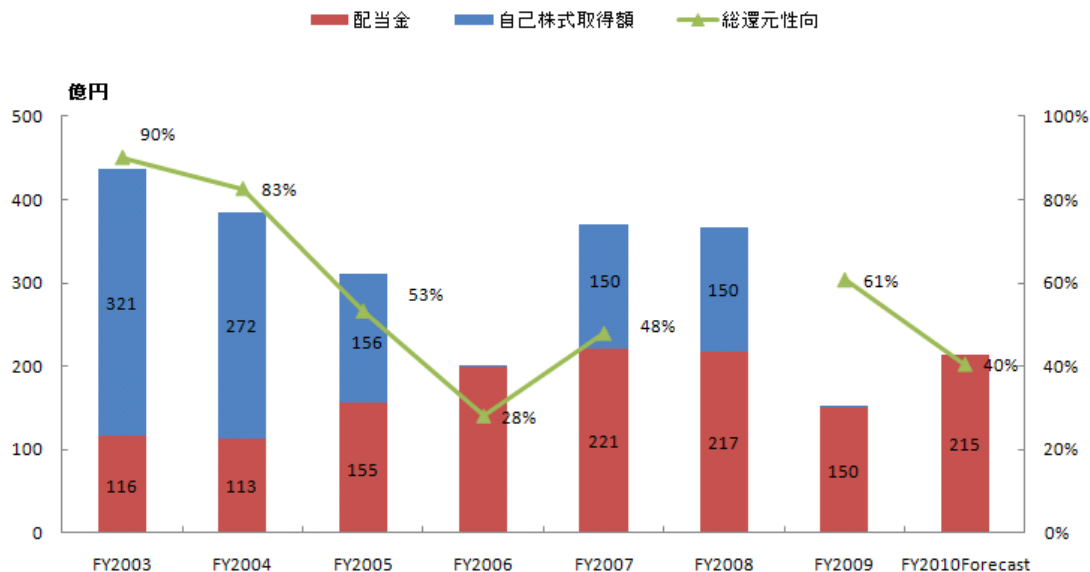
- UVセンサデバイス
- バイタルサインセンサ(心拍数、血圧、血糖値、体温など)

自動車

- 低損失で接続信頼性の高い大電力用積層セラミックコンデンサは、EV/HEVにおけるインバータの小型化や補機類の電動化を支え、省エネに貢献。
- 車内無線ネットワーク用部品(無線モジュール、センサ)



利益配分に関する方針



利益還元策としては、配当による配分を優先的に考え、1株当たり利益を増加させることにより配当の安定的な増加に努めます。

当資料に記載されている、当社又は当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定、判断などのうち既に確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は、さまざまなリスク要因や不確実な要素により業績見通しと大きく異なる可能性があり、これらの業績見通しに過度に依存しないようお願いいたします。また、新たな情報、将来の現象、その他の結果に関わらず、当社が業績見通しを常に見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスク要因や不確実な要素には、以下のものが含まれます。(1)当社の事業を取り巻く経済情勢、電子機器及び電子部品の市場動向、需給環境、価格変動、(2)原材料等の価格変動及び供給不足、(3)為替レートの変動、(4)変化の激しい電子部品市場の技術革新に対応できる新製品を安定的に提供し、顧客が満足できる製品やサービスを当社グループが設計、開発し続けていく能力、(5)当社グループが保有する金融資産の時価の変動、(6)各国における法規制、諸制度及び社会情勢などの当社グループの事業運営に係る環境の急激な変化、(7)偶発事象の発生、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

当資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。

